

王様その1 幸せ家族のボンゴフレンディ

Profile

斉藤 淳さん (45歳)

家族構成 妻、子供ふたり

作品名

ボンゴ・フレンディ・キャンパー・キット

車両 マツダ ボンゴフレンディ

材料 木材、キャンパー用シンク、石油用

ポンプ、プラスチックの箱、ポリタンク、

サブバッテリー類、蛇口、アルミパイプ等

コスト 約20万円 (既製品込み)

製作期間 延べ日数 約3週間



深夜到着でも、車中泊なら1時間からずいぶんと早く眠りに着くことができる。手作りが得意なお父さんのおかげ

誰にも負けないココ!

キッチンセットは1点で固定!

車内は、簡単に造作を変えられるようにはできていない。ミニキッチンのセットをどう固定するか、これは大きな課題だった。頭をひねる斉藤氏の目に止まったのが、はずした3列目シートの床に残った、シートベルトの固定に使う金具。用途からして強力に車体とつながっていることは間違いない。はたしてキッチンセットはこの1点で固定でき、振動がつかまどう車内で揺るぎなく機能している。接続の処理も見事だ、接着してあるのかと思うほど。



一家4人、ぐっすり眠れるスペースを確保

独身の頃はキャンピング三昧。アウトドア派の奥さんと知り合ってからキャンピング。子供が小さいうちはまだまだキャンピング。しかし学校をはじめると、そうそう長い日程を組むわけにはいなくなる。短いとあわただしく、家族の中でキャンピングの人氣がかけりを見せた。これはまずいと危機感を抱いた斉藤氏は車内泊を提案、しかしあえてキャンパー仕様には頼らずノーマルなボンゴフレンディを購入した。

普段はこうです。

3列目右側のシートを取り外してキッチンセットを。左側は生かして普段はこの状態

あちキッチン



中はこうです。

フタを開けるとシンクとコンロ。フタは開けたまま支えて作業台にすることも

シンクの下はタンク。石油用の電池式のポンプで蛇口とつながっている

「まずは手を加えないままで1、2度キャンピングに出かけました。その中で、構想を練っていったわけです。最初の難関は寸法をとること。微妙なRとかあちこちにありまします。方法? 段ボールを使って何度もあててみるんです」

車内は左側後方にミニキッチン。3列目シートのキッチン側をひとつ取り去って収納スペースに。そのフタになる板がテーブルにもなる。ミニキッチンは蝶番でフタができるようになっており、閉めてしまえばテーブル。その面はさらに2重で、開くと子供がひとり横になれるベッドに早変わりだ。とにかく、あらゆるパーツが何かしらに流用できる設計の奥の深さに驚くばかり。

「最近ドライバーシートの方もベツツにできるよつなつたんです」と、おもむろに2列目のシート下から板を取り出す。ベルトで収納してあった2本の支柱を横に渡し板をセットすれば、子供にちょうどいいロフトができあがった。すぐ脇にフロントガラス。星形を見上げながら眠ることもできるだろう。

「もっと大きなクルマをと思って、もどつちにしる日常使うクルマも要るわけで、2台も持つ余裕は

奥さんから一言



最初は、またはじまったなと思っただけ

「なんでもきっちりしてないと気がすまない人だから」と微笑む奥さん。「学校があるから週末だけというキャンピングが多くなって、金曜の夜出発、深夜着というパターンが出てくるんですよ。テント張るだけで疲れちゃった、みたいなことになって。でもこれなら着いてすぐに眠れるし、また楽しめるようになりました。もともと何か作るのが好きだという斉藤氏が、キャンパーキットに着手するにあたっては、また何かはじまったなという程度だったとか。今は、「まあよくここまで」という感じだと、夫を見守る。



さらにテーブル

収納部のフタに使っていた部分を使ってテーブルになる。数人で囲める大きさ

さらに...



さらなる変身のために作業中。車内の数箇所から吊るす形で支えられる

【ドライバーシートもロフトベッドに早変わり!】

3

ハンドルにちょうどかみ合うようにカットされている。これが固定にもつながる

4

はい、ベッドの大きさが!これで車内のスペースをフル活用した快適ホテルが実現

2

板を入れたら慎重に水平を出す。「なぜか水準器持っていないんですよ」と笑う斉藤氏

1

2本の支柱を横に並べて吊るし、ガラスと接する部分をゴムのカップでガード

あちベッド

テーブルがぱたんと開いて現れたベッド。マットはベビーベッドのクッションを使うとか